



9月の空気の澄んだある早朝、市内更和の田園風景に見入っていると、湊小学校に通学する子どもたちがやってきました。夏休みの宿題なのか、重そうに荷物を持つ高学年から低学年までの子どもたちが、仲良く元気にあいさつをしながら歩いて行く姿を見て、清々しい気持ちになりました。 撮影 初見 勝氏（長崎）

富津絶景¹⁶



「志駒の大銀杏」

写真提供 君津市・渡邊 勇さん

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

9月定例会・委員会報告	2・3P
決算審査特別委員会報告	4・5P
代表質問	6P
個人質問	7～11P
トピックス、定例会日程	12P

9月 定例会

◆ 条 例

▼富津市東日本大震災復興基金条例が制定されました

千葉県では、東日本大震災からの復興に向け、国からの特別交付税を基に「東日本大震災市町村復興基金」を創設。県内市町村でも平成24年度から25年度にかけて、県から交付される交付金を基に基金を創設し、地域の実情に応じて行う住民生活の安定やコミュニティの再生等の取り組みを支援することになりました。

全員の賛成で可決しました。

▼子ども医療費の助成対象が拡大されます

平成24年12月1日から現物給付による子ども医療費の助成対象が、

平成24年第3回定例会は、8月27日から9月19日までの27日間で開催されました。議案16件、報告3件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

現在の小学校3年生までの子から中学校3年生までの子に拡大されます。なお、制度の詳細は、子育て支援課（80・1256）へお問い合わせください。

全員の賛成で可決しました。

◆ 補正予算

▼一般会計補正予算

歳出予算補正については、東日本大震災からの復興に資する新たなソフト事業などに充てる基金費、障害者虐待防止の体制強化費、子ども医療費の助成を現物給付方式に変更する経費、ポリオワクチンの接種方法等の変更経費、ごみ焼却施設から排出される飛灰の処分費、消防団車両のデジタル無線受令機整備費、大貫中学校自転車置場の新築費などに加え、人事異動等に伴う人件費を補正しました。その結果、8875万9千円が増額され、補正後の予算額は16億8875万9千円となります。なお、歳入予算補正については、これら歳出の財源に充てるための国県支出金、繰越金、諸収入、市債などを増額しました。

全員の賛成で可決しました。

歳入予算の主な内容

- 国庫支出金（障害者虐待防止対策事業補助金） 115万9千円
- 県支出金（「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金など） 1749万9千円
- 繰越金 3980万円
- 諸収入（コミュニティ助成事業補助金） 250万円
- 市債（消防施設整備事業債及び学校教育施設整備事業債など） 2760万円

歳出予算の主な内容

- 企画費
- ・基金費（東日本大震災復興基金積立金） 1500万3千円
- コミュニティ推進事業費
- ・コミュニティ推進関係費（コミュニティ事業補助金） 250万円

○施設費

- ・消防自動車等整備事業（消防団デジタル無線受令機購入費） 900万円

○学校管理費

- ・中学校施設整備事業（大貫中学校自転車置場新築工事） 1700万円



台風により破損した大貫中学校自転車置場

○公民館費

- ・中央公民館管理運営費（地下重油タンク漏えい防止修繕料） 300万円

○身体障害者福祉費

- ・軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業 27万円

○障害者虐待防止事業費

- ・障害者虐待防止事業（障害者虐待防止センター業務委託料など） 148万1千円



コミュニティ事業補助金を活用して修理される佐貫区の山車

○児童福祉総務費

・子ども医療対策費

298万7千円

○予防費

・予防接種事業（各種予防接種委託料など）

1099万2千円

○観光費

・観光地魅力アップ緊急整備事業（富津公衆トイレ新築工事）

793万円



富津公衆トイレイメージ図

○塵芥処理費

・最終処分場管理運営事業（飛灰処分委託料）1900万円

▼国民健康保険事業特別会計補正予算

平成23年度決算の確定に伴う前期高齢者交付金の精算などにより歳入が増額となり、歳出として国

民健康保険基金へ3億6724万7千円の積み立てなどを行い、補正後の予算総額は74億9248万4千円となります。

全員の賛成で可決しました。

▼介護保険事業特別会計補正予算

平成23年度決算の確定に伴う介護給付費負担金等の精算などにより歳入が増額となり、歳出として介護保険給付費準備基金へ5244万円の積み立てなどを行い、補正後の予算総額は39億7397万5千円となります。

全員の賛成で可決しました。

◆全員協議会

▼浅間山砂利採取跡地利用基本調査報告

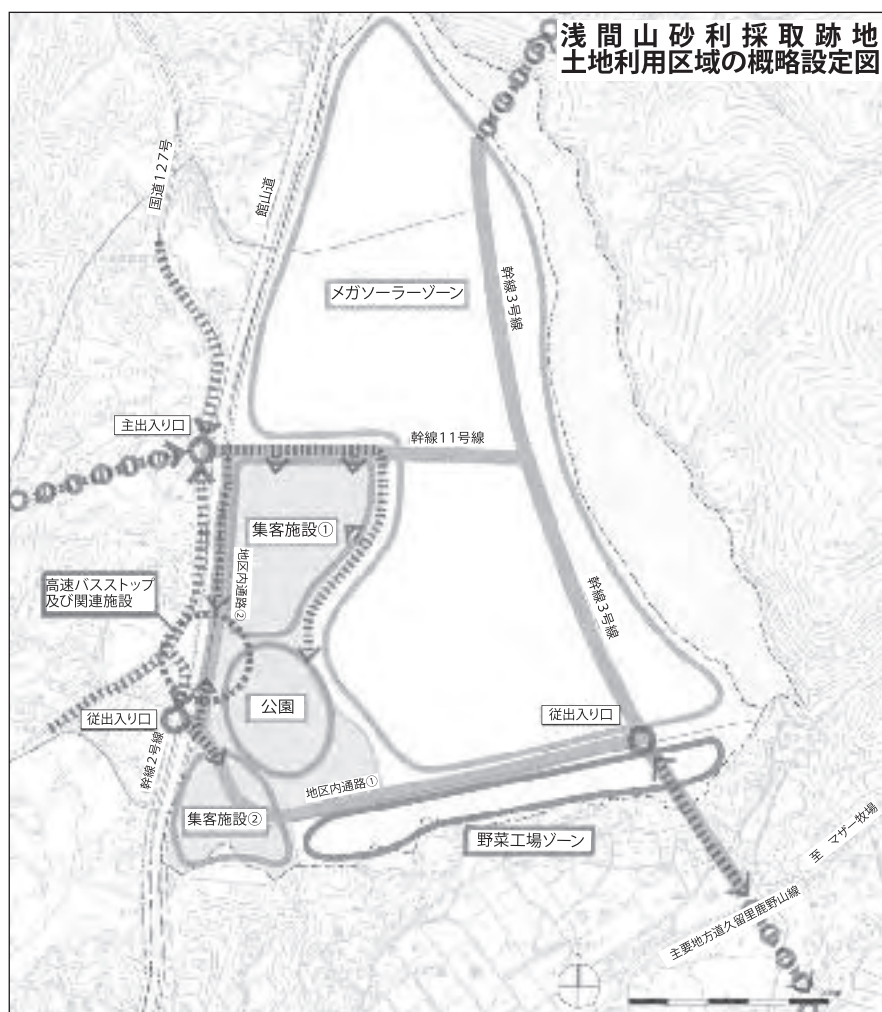
この調査は、大手山砂利採取企業6社による採取終了後32年が経過した中で、昨今の太陽光発電事業の提案や館山道の4車線化等の状況を踏まえて、浅間山砂利採取跡地の有効活用を促進するため、市として望まれる全体像とその整備手法や高速バスストップを設置するための基礎的な検討を行ったものです。望まれる全体像は「地域の発展に寄与する」観光機能を具備した『メガソーラー』を核と

する複合拠点開発』とされ、跡地利用の施設構成案や区域の概略設定図などが示されました。

▼路線バス「富津市役所線」が君津駅まで延伸

路線バス「富津市役所線」は、これまで市役所本庁舎を経由してJR大貫駅・青堀駅間を運行していましたが、君津駅以南の単線を

補完するための君津駅発着列車への乗降接続や君津中央病院を経由して運行している路線バス畑沢線への乗り継ぎなど交通便利性の向上を図るため、10月1日から「富津市役所・君津駅線」に名称変更し、君津駅南口まで延伸しました。なお、運行の詳細は企画政策課（80・1229）へお問い合わせください。



平成23年度決算を審査しました

決算書・成果説明書・監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会（９人）において、平成23年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、３つの特別会計と２つの企業会計の計６会計があります。

議会では、監査委員が行う数字や関係書類等の吟味・精査（監査報告書として提出）とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのような行政効果が発揮されたかを審査します。

それを受けて、今後の行財政運営において、どのような改善工夫がなされるべきであるかについて、様々な角度から検証すること、事業の評価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行います。

審査の結果、6会計全てが認定されました。審査の中で質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

委員長	福原 敏夫
副委員長	石井 志郎
委 員	永井庄一郎
委 員	岩崎 剛久
委 員	岩本 朗
委 員	松原 和江
委 員	佐久間 勇
委 員	渡辺 務
委 員	十川 敬三



現地視察した消防防災センター敷地内調整池

歳入のこと

●法人市民税の減収要因は？

一般会計のうち、市税収入は全体の58・1%を占めます。主な要因は、景気の低迷と東日本大震災による企業収入が減ったことによるものです。

●個人市民税所得割の減収要因と業種別の増減内訳は？

主要要因は、年金所得者等116人増、農業所得者4人増、給与所得者261人減、商業・漁業所得者43人減、結果として納税義務者が142人減つたことによるものです。

●特別とん讓与税の減収要因は？

主な要因は富津市への入港実績が減ったことによるものです。

市役所のこと

●財務書類4表作成支援業務の今後の経費見込みは？

財務書類４表とは、貸借対照表・行
政コスト計算書・純資産変動計算書・
資金収支計算書のことです。今後
も予算編成や決算分析に活用しま
すが、次年度以降は初期費用が不要
のため経費は減額となります。

●かずさDNA研究所負担金の今後の負担は？

君津地域4市と県とで一律100万円を負担し、DNA解析や研究を支援しています。平成24年度からの負担は30万円に減額、今後とも引き続き負担していきます。

●市税等徴収補助員の今後について

富津・大佐和・天羽地区に各1名の3名体制により約6500万円の滞納金などを徴収しました。人員を増やせば徴収額とともに経費も増えるため、費用対効果を勘案すると、現状では現行の体制が最良と考えています。

市民福祉のこと

●生活保護扶助費の現状は？

生活扶助費30・1%、医療扶助費51・8%で、全体に占める割合は両方で8割強になります。今後、高齢化に伴い医療扶助費は増える傾向にあります。

●地域自殺対策緊急強化基金 事業の現状は？

市内の自殺者は平成19年度23名、20年度から22年度まで各12名、23年度14名でした。50人以上の企業に自殺予防冊子、全世帯にリーフレットを配布しています。

●塵芥処理手数料の増額理由は？

主な要因は、ごみ袋販売枚数の増加、事業系ゴミ手数料の値上げ（1トンあたり12円↓15円）、その他の持ち込みごみ量の増加によるものです。



現地視察した富津岬の防災行政無線

●消防団への軽消防車配備の見込みは？



寄贈された小型動力ポンプ積載軽消防車

日本損害保険協会から消防団に寄贈された小型動力ポンプ積載軽消防車は、道路狭険地域等での活動に有効で安価なことから、今後の車両更新に合わせて消防団車両検討委員会で導人を検討していきます。

●標高表示板設置の現状と今後について

沿岸部を中心に200カ所設置しました。更に津波浸水予測地域への表示板設置を計画しています。

●イノシシ管理事業の現状と今後の見通しは？

この事業費は、捕獲をしてくださる方への報償費と箱ワナ20基の購入費です。今後は狩猟免許を要しない囲いワナの導入について対

策協議会等で検討していきます。

産業振興のこと

●観光大使を活用した県市外でのPR方法は？

保田圭さんと井上由美子さんに配布しているタスキと2000枚の名刺を活用しながらの観光PRを引き続きお願いしていきます。

教育のこと

●小中学校施設の一般開放の現状と今後について

小中学校17校で武道場、屋内運動場などを790回開放しました。音楽室や図書室については、一般開放の要望がないことから現在検討していません。



現地視察した耐震補強後の竹岡小学校体育館

●学校備品購入費の増額理由は？

学習指導要領が新しくなったことに伴い改定後の小学校用教科書や指導書を購入するために増額となりました。

●古墳の里ふれあい館の利用状況は？

見学者は例年の倍以上の1323人でした。10人程度のガイドボランティアに案内をお願いしています。

国保のこと

●滞納者数及び資格証明書等の交付世帯数は？

滞納者数は現年度分と過年度分をあわせて約2800人です。交付については資格証244名、短期保険証の3カ月282世帯、2カ月6世帯、1カ月417世帯です。

水道のこと

●未給水が解消された区域での加入促進策は？

配水管の接続後には岩本地区8件、関地区1件が加入しました。今後も地元説明会を開催しながら加入の促進を図っていきます。

▼各会計決算額

会 計 名		当初予算	歳入	歳出	差引額
一 般 会 計		156 億 4,000 万円	164 億 2,887 万円	160 億 747 万円	4 億 2,140 万円
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	68 億 9,321 万円	71 億 772 万円	67 億 3,387 万円	3 億 7,385 万円
	後期高齢者医療特別会計	4 億 1,954 万円	4 億 2,730 万円	4 億 2,425 万円	305 万円
	介護保険事業特別会計	33 億 6,987 万円	35 億 9,252 万円	35 億 4,076 万円	5,176 万円
	計	106 億 8,262 万円	111 億 2,754 万円	106 億 9,888 万円	4 億 2,866 万円
水 道 事 業 会 計		収益的収支	14 億 5,476 万円	14 億 9,807 万円	▲ 4,331 万円
		資本的収支	3 億 4,427 万円	6 億 3,133 万円	▲ 2 億 8,706 万円
温 泉 供 給 事 業 特 別 会 計		収益的収支	118 万円	205 万円	▲ 87 万円
		資本的収支	0 万円	0 万円	0 万円

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内（質疑応答で150分）であれば、
同じ会派の人が関連質問をすることができます。



代表質問

市長就任以来2期8年間の成果について

賢政会



福原 敏夫
議員

問 市長就任以来2期8年間の成果について。

市長 誠実・対話・実行を基本理念に、いきいきとした富津市づくり、よりよい富津市づくりに誠心誠意取り組んできた。この間、当市を取り巻く状況は厳しい財政事情など決して楽観できるものではなかったが、道路網や学校施設などの基盤整備や要援護者安心ネットワーク支援事業を初めとする社会福祉の充実などの様々な施策を実施した。企業誘致では、富津地区工業用地の9割を超える面積に企業が進出あるいは決定している。

また、昨年度に青堀駅周辺の整備を完了し、本年4月に定住奨励制度をスタートさせ、6月に消防防災センターの建設工事に着手した。
問 企業立地の現況と今後の見通しについて。

市長 富津地区工業用地の残り約12分については、企業誘致奨励金の周知を図りながら企業庁と連携し、積極的に誘致活動を行っている。また、浅間山砂利採取跡地については、本年7月の再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の開始を受け、太陽光発電事業の企画提案が土地所有者6社になされ

た。当市としても館山道の4車線化にあわせて高速バスストップの誘致を図りながら太陽光発電事業を呼び水として、雇用の創出や交流人口の増大が図れる事業の誘致につなげたい。

問 公共輸送網の整備について。

市長 鉄道輸送を補完すべく、高速バスの市内への乗り入れ便数の増や新規路線開設のため、仮称富津バスターミナルの整備を図り、首都圏へのアクセス向上を目指す。また、10月1日から富津市役所線を富津市役所君津駅線と名称変更し、君津駅を発着する列車への乗降接続や君津中央病院へのバス乗り継ぎなど、市民の交通便利性の向上を図るため君津駅へ延伸する。



消防防災センター完成予想図

学校教育の課題と展望

賢政会



渡辺 務
議員

問 学校教育の課題と今後の展望について伺う。

教育長 第三次基本計画に則り「富津を愛し、富津の未来を託せる児童・生徒の育成」を学校教育の指針としている。学校施設の耐震化率についても、平成25年度末で100%となる予定。非構造部材についても対応している。

問 教育委員会の点検・評価について、その目的は。

教育部長 首長から独立した合議制からなる教育委員会が教育行政に関する基本方針を決定し、その教育行政事務に対し説明責任を果たし効果的に推進しようとするもの。

問 7月の教育委員会定例会の中で教育委員長からこの「点検・評価の報告書を作成すること自体が目的化されてはいないか。」と指摘を受けているがいかがか。

教育長 私もその会議に出ていたが、教育委員長の発言を真摯に受け止めて、改善すべきことを改善しながら、本来の目的である市民への説明責任を果たすべく努力してゆきたい。

問 先進的自治体では点検・評価の項目を総花的ではなく10から20位ピックアップして、これを外部

評価にかけている。所見は。
教育長 貴重なご提言を頂いたので、ぜひ先進市の例も参考にしながら、効率的なムダのないやり方を検討してゆく。

問 教育の場でのレイマンコントロールについての所見は。

教育長 教職員や行政職員だけの判断によって教育行政や学校運営が偏りを起こさないよう広く市民の良識を取り入れることがレイマンコントロールの目的であると理解している。その役割を持つ教育委員さんたちが十分な議論をできるように情報提供に努めるとともに市民への説明責任を果たすためにも「教育かわら版」の内容の充実などにも努めてゆきたい。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成23年度対象)

平成24年7月
富津市教育委員会

「教育委員会の点検・評価」の報告書は市ホームページでも閲覧可能

ブランド化と市の再構築、 富津公園のレジャー化



平野 政博
議員

問 富津産農水産物のブランド化とブランド内容は。

市長 多種多様な農水産物に恵まれており、ブランド化が図りにくいこともある。今後はキャッチフレーズ「あったかふつつ」と「ふつつん」を活用して地域知名度を上げると共に農産物の生産拡大に努めブランド化の確立を推進したい。

問 富津市ブランド化戦略会議の中で関アジ関サバのような具体的な商品の検討は。

経環部長 キャッチフレーズを定めた会議であり、具体的商品は今後関係団体と協議していく。

問 人口減少対策について居住の糸口となる内外的な「富津市」の知名度アップ方法は。

市長 市が丸となつて積極的に情報発信を行っていききたい。

問 「ふつつん」のPRについて「チーバくん」のように幅広いグッズ展開を考えているのか。

企財部長 関連グッズは手掛けて行きたいと思う。

問 今後のPRプランは。

企財部長 先般お披露目したばかりだが、今後は市外の行事等にも積極的に出向き、着ぐるみの数も

増やしていきたい。

問 富津産商品にロゴマークとしての活用は。

経環部長 ロゴ使用は農協漁協と協議検討していきたい。

問 GW中のドブの廃棄物について、道路側溝にズタ袋が並べられたままですが、潮干狩りに訪れた観光客はどのように感じているのでしょうか。今後の対策は。

建設部長 観光客の視点や地区の特徴に配慮し、実施を検討する。



連休中の道路に並べられたズタ袋

問 千葉市では職員の民間派遣制度がある。市民のための究極のサービス業である市役所の職員を民間企業へ派遣して「おもてなしの心」を理解し、行政に生かすべきだと思うが。

総務部長 民間企業等の研修は重要であるが、地方公務員法の強い規制もあり慎重に対応したい。

問 地場産業バカ貝の加工業ですが、福島原発事故の放射能問題の風評被害が深刻であり自らの経営努力では厳しい現状です。地場産業をどのように守り保護するのか。

経環部長 原貝の共同購入や共同販売を組合事業として組合員が推進していくことが重要であるが、細菌検査を一元化するなど、市としてできることは支援していく。

問 浦安市を例にとり季節を問わないレジャーランドの誘致が人口減少対策・知名度アップには必要だが。

市長 自然公園法の特別地域に指定されており、富津公園への誘致は難しい。

問 富津公園で毎年目玉となるような音楽フェス（ふつつロック）の開催を提案したいが可能か。

経環部長 やはり公園法があるため難しい。

問 知事の許可を取ることができれば、可能であると解釈するが。

経環部長 条件が厳しく制約されることから現実的に難しい。

問 富津公園以外で来場者数万人規模のライブ会場は市内に存在するのか。

経環部長 ある程度の規模であれば、ふれあい公園や富津みなと公園になるかと思う。

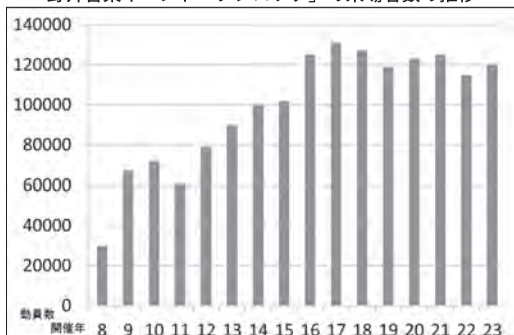
問 その場合、市として何らかの援助はしてもらえるのか。

経環部長 営利を目的とするものには後援しないという規定があるが、できる範囲で協力したい。

問 日本一大きい野外音楽イベント「フジロック」の今年の来場者数は、4日間の開催で延べ、14万人。富津市の人口の約3倍の来場者数であった。若者に富津市をアピールするため、こういう試みはどうか。

経環部長 集客規模にもよるが開催していたければ、市としても有名になることは良いことだと思うので、協力できることは協力したい。

野外音楽イベント「フジロック」の来場者数の推移



前夜祭を除く3日間の開催で富津市の人口の約3倍の集客威力は絶大

いじめ問題、通学路の現状と課題について



鈴木 幹雄
議員

問 市内小中学校におけるいじめの現状は。

教育長 いじめの現状については、文部科学省の調査結果から平成23年度において市内の学校でもいじめはゼロではない。

問 いじめに対する学校の監視、注意はどのような体制にあるのか。
教育長 いじめについては未然防止の指導が日ごろから重要で、早期発見、早期対応が大事。発見の体制等についても、日ごろから子どもたちの様子をつぶさに観察し、相談しやすい状況づくりやアンケート調査の実施等に取り組んでいる。更にPTA、学校評議員等からの情報もあわせ対応に努めている。

問 いじめの判断基準は。

教育長 いじめの定義が平成18年に改正され、いじめかどうかの判断は、まずいじめられた児童生徒の立場に立つ。いじめは一定の人間関係にあるものからの行為であること、心理的・物理的な攻撃を受けること、精神的な苦痛を感じるもの、またいじめの場所は学校の内外を問わない。

問 いじめ問題の対応は。

市長 学校は集団生活を通して人

間的に成長していく場であり、市と学校が連携し、更に学校、地域、保護者が一体となって子供たちを見守り、重大ないじめ問題が起きないように努めていく。

問 通学路の現状と課題について
教育長 まず国道を横断してから歩道のない国道の一部を歩く、カーブで見通しが悪い、横断歩道がないなどの問題点がある。

問 通学路の危険個所の改善は。
建設部長 今回の緊急点検で20カ所の改善要望があり、白線の引き直し等の路面表示に関するもの、歩道の新設に関するものなどがあつた。要望2カ所については改善済み。今後、交通安全対策特別交付金等の活用で随時改善を図りたい。



通学路の安全点検の様子

要援護者安心ネットワークの支援について

問 要援護者の申し込み状況は。

健福部長 平成22年度末の登録者数は全体で2085人、うち平時時のみ4人、災害時のみ1320人、平時時・災害時761人。平成23年度末の登録者数は全体で2093人、うち平時時のみ4人、災害時のみ1273人、平時時・災害時816人。

問 平時時、災害時の対応は。

健福部長 平時時の支援は、市内11地区で組織されている地区社会福祉協議会が市からの見守り支援者リストで支援計画を作成し、対象者宅の訪問、声かけ、安否確認等を行い要援護者の状況を把握。また災害時の支援は、支援者リストを区長、富津警察署、消防団等に提供し、支援をお願いしている。なお、緊急連絡先、かかりつけ医院等が記載されている安心カードは市担当職員により直接交付し、制度の説明をしている。

問 要援護者1人に対し複数の支援者を置く必要があるのでは。

健福部長 地域支援者には共助、ボランティアの精神に基づき支援をいただいている。また申請書には複数の記載欄があるが、あくまでも本人の申請に基づく登録である。

問 自主防災組織の結成について。

総務部長 現在107区中、55団体が設立している。今後は各区全体に対して自主防災組織の立ち上げを推進していく。

問 要援護者安心ネットワークの更なる強化策は。

健福部長 21年の開始から3年を経過し、災害支援者の方の登録情報に変化が生じているので、最新の内容に更新する。更には津波ハザードマップを活用し、寝たきり等の方々に対応していく。

問 要援護者安心ネットワーク支援事業について

市長 平時時・災害時の支援及び富津市地域防災計画と連携を図り、ネットワークの強化を図る。



要援護者宅への訪問の様子

人口減少の防止策、広報の在り方



藤川 正美
議員

問 市の人口が一番多かった時は、
市民部長 昭和50年で5万6899人。

問 千葉県のデータには、2005年を基準（100）として18年後の2030年の人口と指数を予測している。それによると袖ヶ浦市は5万4192人で指数は92、木更津市は10万5743人で87、君津市は7万6670人で84、富津市は3万5106人で70。担当部長、これについてのコメントは。
市民部長 防止策として、若年層の雇用の創出、交通アクセスの向上、子育て支援の充実などが有効と考えている。

問 今年実施した「かずさまちづくりディスカッション」の中で、市の担当係長が「合計特殊出生率」について、このように説明している。「15歳から49歳の女性のそれぞれの年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が生涯に産む子どもの平均数。千葉県では平成15年に1.20人まで下がったが、ここ数年上昇傾向になり1.34人になった。君津地域4市では、平成22年で木更津市1.55人、君津市が1.49人、袖ヶ浦市が1.38人、富津市はなんと1.04人。このままではデッ

ドラインの1人を切ってしまう可能性もあり、何と県下ワースト2位である」。この少子化対策として、市は定住奨励制度を発足したが、どれ位を見込んでいるのか。
企財部長 年間150件ほど。

問 時々、「富津市は税金などが高い」と耳にする。事実かどうか。モデルケースとして、34歳の夫、妻と5歳の子供の3人家族。課税所得金額400万円、1200万円の評価額の自宅、自営業の想定で、4市の税額などを知りたい。
市民部長 市民税、固定資産税については、表①の通り、4市は全て同額。

健福部長 国民健康保険税、保育料については、表①の通り。
経環部長 ごみ収集手数料は表①の通りだが、君津市は90枚まで無料配布となっている。これはあくまで試算。

水道部長 加入メーター20ミリ、2カ月で43立方m使用として算出した金額が表①。

教育部長 奨学金制度の内容については表①を。君津市は平成22年から高校への貸付は廃止。また君津市・袖ヶ浦市は他の制度との併用は不可。富津市は併用可能。

表①	袖ヶ浦市	木更津市	君津市	富津市
市民税（年額）	201,900円	201,900円	201,900円	201,900円
固定資産税（年額）	168,000円	168,000円	168,000円	168,000円
国民健康保険税（年額）	401,570円	477,280円	432,860円	547,010円
保育料（月額）	21,000円	27,000円	23,400円	26,800円
ごみ収集料（年額）	1,924円	4,135円	1,890円	4,080円
水道料金（2カ月分）	7,911円	8,835円	8,011円	9,901円
育英資金の貸付（月額）	公立大・2.2万円/私立大・4.3万円 公立高・1万円/私立高・2万円	公立大・4万円/私立大・5万円 高校・1万円	大学/高専・5万円	大学・2万円 高校・1万円

※この金額は、試算の部分もあります。また、紙面の都合で説明不足の点もありますので、詳しくは、4市のホームページをご覧ください。

問 広報ふつつが、新聞折り込みになった背景は。

企財部長 以前は区長回覧で毎月第1金曜日に配布されていたが、市民に届くのが1週間後になってしまいうケースもあり、情報の速報性が図れないことから、平成11年5月1日号から新聞折り込みに。
問 現在の新聞折り込み数と、郵送による数を知りたい。また、郵送は増えているか。

企財部長 各新聞6社合計で1万6250部。いまは郵送ではなくポスティングで695部を配付。このほかの方については、各公共機関に置いてあるので活用をお願いしている。ポスティング数は年々増えている。

問 折り込みが1万6250部、ポスティングが695部。8月1日現在の世帯数が1万7529世帯。500人位に届いていないことになる。更に新聞発行部数の公表数には、押し紙というものがあり、実配数は公表数よりだいぶ少ない数となっている。これらを考慮すると、更に広報ふつつが市民に届いていないことになる。どう考えるか。

企財部長 行政内部で話し合いをしていきたい。

問 平成19年3月に初めて出された「暮らしの便利帳」を、今回は（株）サイネックスと共同で発行すると聞いているが。

企財部長 その通りで、今年12月までに各家庭に配付する予定。

問 インターネット利用数の実態、新聞の実配数を知るために、簡単なアンケートを実施しては。

企財部長 前向きに検討したい。

安心して子育て、生涯現役、定員管理について



佐久間 勇
議員

問 「安心して子育てできるまち」を目指した施策として、保育施設の時間外延長保育の実情は。

市長 8時間の規定保育以外に、公立、民間共に始業と終業前後で3時間の時間外保育をしている。民間では保護者の就労形態による需要にあわせ、時間外を含む11時間を超えて、更に2〜3時間の延長保育を実施。延長保育に対して補助金を交付し、安心して子育てできる環境の整備を図っている。

問 一時保育についての要望と充足状況は。

健福部長 公立7保育所すべて、民間は4のうち3保育園で実施。子どもを預けて安心して働ける環境整備は重要。他市の親から「富津市は待機児童がいない」と評判だが、受入れ状況は。

健福部長 管外受託の入所児童数は木更津市から27名、君津市から87名などで、計126名。

問 学童保育についてはどうか。
市長 学童保育クラブとして、民設民営で6クラブが開設。保護者が就労等で昼間家庭にいない児童132人が利用。運営費を助成し、児童の安全確保と保護者の働きやすい環境整備に努めている。

問 地域での子育て環境を整えるため、市としてできる手立ては。

健福部長 児童5人以上が補助対象だが、小規模な学童保育クラブは、1人でも補助対象とした。

問 学習指導要領が「ゆとり」から「生きる力を育む」教育と変わった。地域力を活用した取組は。

教育長 特別非常勤講師として、琴・和太鼓・そろばん・書道・茶道・華道など143時間の授業を展開。ほかにも総合学習の時間を活用し、田植えや縄跳など地域の伝統産業も伝承。また、スポーツや読書、福祉教育などに協力をいただいている。今後も豊かな教育活動に努めたい。

問 誰しも与えられた寿命を患う



学年を超え、楽しく遊ぶ「学童保育」

ことなく全うしたいと思う。健康寿命を延ばす施策、特定健康診査の重要性は。

市長 栄養教室を開催し、食生活の改善や予防知識の習得、生活習慣病の予防対策に自ら取り組めるよう支援。若年健診も含む18歳以上からできるように繰り下げた。がん・心臓病・脳卒中の三大疾病及び糖尿病予防のために、各種がん検診や特定健診の受診率向上が重要で、医療費の適正化、国保事業の安定運営にもつながる。

問 予防効果のある特定検診だが、本市と近隣市の個人負担状況は。

健福部長 非課税世帯と70歳以上は無料だが、ほかは1100円の負担がある。近隣3市は受診料が全額無料。

問 健康でいることが国保会計の軽減になる。「費用対効果」からも無料にしてもいいのでは。

健福部長 今後検討していく。

問 職員の定員管理は行政運営の観点からも重要。「定員管理の適正化」とはなにか。

市長 平成23年度から27年度までを期間に職員定員適正化計画を策定した。多様化する行政課題に対応するため、同規模類似団体等を参考に、職員採用の平準化に努めている。

問 消防防災センターが来年4月

から運用されるが活動拠点は。消防長 消防防災センターとしての本署と現在の天羽の2拠点。

問 3拠点が2拠点になるので、規模については今後の検討課題だと思うが、体制の見直しは。

総務部長 出張所の人員、規模が現体制でいいのかどうかは検討する。消防車1台に3名体制はいろいろな要件があったと思うが、4名という整備指針に近づける必要があると思う。

問 市長には魅力の伝道師として具体的に話す責務がある。思い描くこれからの富津像は。

市長 第3次基本計画で、「安心して子育てできるまちづくり」を進めている。市民の方々が誇りと責任を持って、心豊かに安全な生活ができるようなまちづくりを進めていきたい。



生涯現役スバラシイ『若いもんにはまけられねえ〜』

住宅リフォーム助成導入について



松原 和江
議員

問 住宅リフォーム助成制度とは、住宅をリフォームしたい住民に自治体が一定額を助成するもの。工事を地元の中小建設業者に発注するため、不況により仕事が減り困っている業者から歓迎され、住民からも「助成制度のあるこの機会に思い切ってリフォームを」と歓迎されている。県内では昨年度5市3町が実施していたが、現在はどうか。

市長 県内20市町村が実施。このほかに耐震とあわせて実施するリフォーム助成は、本市を含めて3市が実施。

問 本市への申し込み件数は。
建設部長 3件の相談があったが、申し込みには至っていない。

問 どこでも耐震とあわせてやるというと築30年以上の建物が対象で、既に耐震構造になっている住宅をリフォームする場合は対象にならないので、申込者は少ないと思うが、近隣市の動向は。

建設部長 木更津市は本市と同様。君津市、袖ヶ浦市は制度導入について検討中とのこと。

問 館山市は今年7月1日からこの制度を実施し、工事費の10%、20万円の限度額で予算を付けた。

8月末時点で45件の申し込みがあり、既に予算の4分の1の500万円の申請があつて、5件は工事が完了したようだ。館山市も耐震とあわせてリフォームには、25万円の限度額で助成があるが、まだ申し込みはないようだ。建設業者の人たちの生活を守ると同時に、住民の住環境を良くしていくため、国からも補助がおりるので、本市でもリフォームだけの助成制度の導入を検討していただきたいが、いかがか。

建設部長 耐震改修の状況をみながら検討していきたい。

住宅リフォーム助成制度県内実施20自治体

いすみ市	銚子市	我孫子市	船橋市
勝浦市	八街市	白井市	市川市
御宿町	富里市	四街道市	栄町
大多喜町	酒々井町	一宮町	鴨川市
白子町	長生村	大網白里町	館山市

大平興産（株）処分場の漏えい防止計画について

問 峰上地区住民に第2処分場の漏えい防止計画の説明会があつた。概略は。

市長 今までの揚水対策に加え、1点目、第2処分場に鋼矢板による仕切り壁を設置し、上流の浸出水を遮断する工事。2点目、遮断された上流側の廃棄物を取り除き、火山灰層に遮水シートを設置し浸透を防止する工事。3点目、第2処分場の下流側に空気注入管を設置し、浸出水に空気を吹き込むことにより炭酸カルシウム固形物をつくり出し、固形物により火山灰層を目詰まりさせ、浸出水の漏えいを止めようとする工事。

問 市民の質問や意見は。

経環部長 「矢板を打つことで、今までできていたみずみちが壊れてしまうのではない」「対策工事に何か下心があるような気がする」「廃棄物をすべて掘って、シートをはり埋め戻すことはできないか」「目詰まり対策の炭酸カルシウム成果をどのように確認するのか」。

問 市は、この対策工事で漏えいは止まると考えているのか。

経環部長 事業者と県が相談して講じるもの。市は今後注視したい。
問 第1処分場の漏えい調査の結果は。

果は。

経環部長 漏えいしているかどうか聞いていないが、可能性があるのではない。

問 第2処分場の上に第3処分場の延長を申請しているが。

経環部長 承知している。

問 県が第3処分場の拡張を許可したら市は「はい」と言うのか。

経環部長 その時に考えたい。

問 大平は土壌汚染対策法による特定有害物質を埋め立てる許可を取っている。この土は。

経環部長 覆土がなくなつたので、土壌から環境基準を超えた有害物質が溶出しないように薬品処理された改良土というものを使って覆土にしている。



大塚山第二処分場漏えい調査結果及び改善対策についての説明会

路線バス君津駅延伸



これまで市役所を経由して大貫駅・青堀駅間を運行していた路線バス「富津市役所線」が10月1日から「富津市役所・君津駅線」に名称変更し、君津駅南口まで延伸しました。

ふれあいスポーツフェスタ2012



10月8日に富津市民ふれあい公園で「ふれあいスポーツフェスタ2012」が開催され、市内外から約2700名が参加。体を動かしながら楽しく秋の一日を過ごしました。



10月17日に富津公民館で「戦没者追悼式」が行われました。富津市出身1340柱の御霊に対して、哀悼の誠が捧げられました。

甲州市かつめまぶどうまつり



「式典で挨拶をする田辺 篤（たなべ あつし） 甲州市長」

10月6日に当市の友好都市山梨県甲州市で「第59回甲州市かつめまぶどうまつり」が開催され、正副議長と3常任委員会から各1名の計5名でお祝いに駆けつけました。



LPGを使った
焼き出し訓練

10月14日の小雨降る中、環小学校で「総合防災訓練」が行われました。峰上地区住民の避難をはじめ、消火や救出救護訓練などが行われ、各機関との連携も確認されました。

バスケットボールフェスタ



10月20日に富津市総合社会体育館で「バスケットボールフェスタ」が開催。君津地域選抜 VS 川崎市選抜のミニバスケット交流試合が男女ともに行われました。

【編集後記】

〈忘却は、生きる力なり〉
悲しいこと、辛いことを、いつまでも引きずっては前に進めない。さりとて、志まで忘れては何のための代弁者か・・・。

〈初心、忘るべからず〉
世阿弥の言葉じゃないけど、いつも自戒の念に苛まれる。干支で言うところの今年（みづのえ）のたつ・ジン（シ）の年。善悪のいろいろの問題が外に出てくる年らしい。過去最高38個のメダルを取って盛り上がったロンドンオリンピックだが、国内に目を向ければ、政局の混迷、原発問題、隣国との所有権争いと、逼迫した問題が山積している。

これこそ忘りたい問題だ。

（ごま）

ぜひ、議会傍聴に！

12月定例会日程

11月30日（金）	10時	開会
12月6日（木）	9時30分	議案の上程
7日（金）	9時30分	一般質問
10日（月）	9時30分	一般質問
11日（火）	10時	予備日
12日（水）	10時	議案質疑
13日（木）		常任委員会
14日（金）		常任委員会
19日（水）	10時	委員長報告 議案審議
		閉会

12月の議場コンサートは、6日の午前9時から富津小学校6年生による琴演奏などを予定しております。

※日程は変更になることがありますので、議会事務局（80・1331）へお問い合わせください。